



コンデンサの中はどうなってる? 6年「電気とわたしたちの暮らし」

昨年より小学校、今年から中学校の教育課程が少し変わり、それに伴って、新単元も導入されました。

その一つに、6年生の「電気とわたしたちの暮らし」という単元があります。

この単元では、

【電気は作ることができる】

【電気はためることができる】

【電気は、光・音・運動・熱に変えて使える】

ことを、様々な実験を通して探っていきます。

ゼネコンを回して、豆電球を点けたり、モーターを回したり、電子オルゴールを鳴らしたりして…。

また、発光ダイオードは比較的長時間点灯していることを確かめ、エネルギーの利用をどのように考えていけばよいのかなど、持続可能な社会をめざすために考えを巡らせます。

コンデンサを扱うのも、この単元が初めてとなります。コンデンサは、一般には直流電流を遮り交流電流を通すという目的で使われます。さらに、電気を蓄える機能も持っています。この単元では主に、この機能を使っ

て、実験を進めていきます。

ちなみに、コンデンサの内部を分解すると、左のように二枚の電極板を向かい合わせにした構造をしています（よい子はマネしちゃダメです）。（文責：玉村かおり）

